



包丁を使はぬサラダ夏来る
噴水の類型壊す風ありし
打水の中を空気の立ち上がる
波音も風もやはらか更衣
小満や瑠璃を放てる鳩の首
八十の壁を楽々越して夏至
しやぼん玉この世の自由短くて
三省堂の開かぬシャッター街薄暑
五月闇口シアから見る日本地図
虹を見し眼そのまま持ち帰る
清らかな授かるものに命と詩
ひとりでに沈むシーソー春行けり
空気が折るやうにほきほき夏蕨
尺取虫枝先に来て枝となる
かたつむり時間のかたち背負ひゆく

甲州 千草
細川 洋子
辻 美奈子
栗原 公子
大沢美智子
町山 公孝
宮内とし子
高木 嘉久
塙 誠一郎
峰崎 成規
千田 百里
大川ゆかり
大畑 善昭
福島 茂
菅原 健一

創作の初めは白や朴の花
さみだれの海さみだれの河を呑む
濡れ手では触るるな烏瓜の花
花魁は紅絹ひるがへし金魚玉
更衣余生にいらぬものの数
更衣生きて来ただけ物ありて
吹くやうにくちびる乗せんラムネ瓶
革命を叫び合ふごと夏蛙
紫陽花の雫にふれてゆく棺
花冷や炎やさしき和蠟燭
辞書裏に母の旧姓花は葉に
万緑や水平線は弧をおびて
晩学は飽くなき遊び踊子草
縄文の森をあまねく緑雨かな
暈深く鎧ひて梅雨を兆す月

清水佑実子
中村 重幸
七田 文子
平松うさぎ
須賀ゆかり
川高郷之助
兵藤 恵
澤田 英紀
小坂 尚子
関 妙子
福田 肇
河野 智子
山岡 純子
長山 正子
枇杷木 愛

